↓ 2回裏、貴重な追加点となる

適時打を放つ横尾

いれた。第2シード

が18日 (水)

発行2018年7月19 上田西高校新聞委員会 19日 編集局長 下形亮人

宮島純夏・奈良本梓 下谷梓・宮島純夏 写真加工一小松鈴音

↓好投した横尾を迎える 上田西ベンチの様子





3 13002001

準決勝進出を決めた。

を7対3で下し見事

回を一人で投げ切り、6回に一失点したものの、 春の北信王者相手に好投が光った。塚田は2回戦の **沽躍は大谷翔平を髣髴とさせる。信州の二刀流。** 長野商業戦では打者として勝利に貢献。投打に渡る この日の上田西の先発投手は塚田純平。塚田は8 だ。

3対2と1点差に迫られ緊張が走ったが、見事上田 西が4対2で長野西を下し、西高対決に勝利した。 上田西は4回戦で長野西高校と対戦。8回の表に

回戦

家 E

うな活躍が光る。さらに投手としても安定した投球 中軸を任されてきた塚田のバットから快音は響かな 優位に進める。しかし6回表に塚田が投じた高めに かったものの、今大会では原監督の期待に応えるよ 極的に攻め、齋藤、荒井、 を見せる塚田が4番に座る上田西打線は初回から積 を見せ、勝利へ貢献している。そんな二刀流の活躍 今年の春季大会では、打者として1年生の時から 一ノ瀬らの活躍で試合を

気な姿勢を見せた。

気込んだ塚田。原監督も「接戦は望むところ」と強

「全力で小諸商業に勝って準決勝に進みたい」

浮いた変化球を長野西打線に捉えられ失点。さらに 出が本塁打を放ち突き放す。その後スコアが変わる 投手が塚田から横尾に変わったる回表にも失点を許 ことはなく、上田西は見事ベスト8入りを決めた。 し3対2と迫られるが、その裏に上田西の主将小井

ス8回1失点 適時打 が応えた形となった。

3季ぶりの栄冠は手が届く所まで近づい らないだろう。また2番手以降の投手に 決勝・決勝を戦う上で改善しなければな も不安が残る。甲子園まではあと2つ。 蓼科高校戦から続く守備面での不安は準 見事勝利した上田西だが課題も残った。

試合の主導権は終始上田西が握った。初 時打を放った。その後も連投の疲れから を3塁に置いた場面で4番塚田が先制適 ち上がりを攻める。四球で出塁した齋藤 レートを狙え」という監督の指示に選手 は相手エースから7得点挙げた。「スト か制球に苦しむ引木を攻めた上田西打線 接戦を予想していた原監督であったが 小諸商業のエース引木の不安定な立

切り抜けると流れは完全に上田西へ傾い 場面でスクイズを敢行。横尾は投前への チを迎えるが、小諸商業4番渡邉はこの 制球で刺殺。自身の好プレーでピンチを した。さらに出塁した4番渡邉を鋭い牽 打球に瞬時に反応し、本塁へ送球し封殺 最大の見せ場は4回表。1死3塁とピン 上がりを見事三者凡退に抑え波に乗った。 た」と話すエースは言葉通り大事な立ち 抑える好投。「初回が全てだと思ってい 投げてはエース横尾が8回を1失点に